

- 2001年度学内LAN整備について
- コンピュータ実習室のリプレースについて
- ウイルス(ワーム)に関する注意と
ウイルスワクチンソフト等の配付について
- Microsoft Campus Agreement
アップグレード版のお知らせ
- 編集後記

2001年度学内LAN整備について

本年度学内LAN整備は授業時間内の対外接続混雑緩和のため、8月に1.5Mbpsの回線を新規増強し、教育用と研究用に別々の対外線を利用するネットワーク構成に変更しました。さらに新7号館および百周年記念館の建設に伴う学内LAN工事を実施しています。

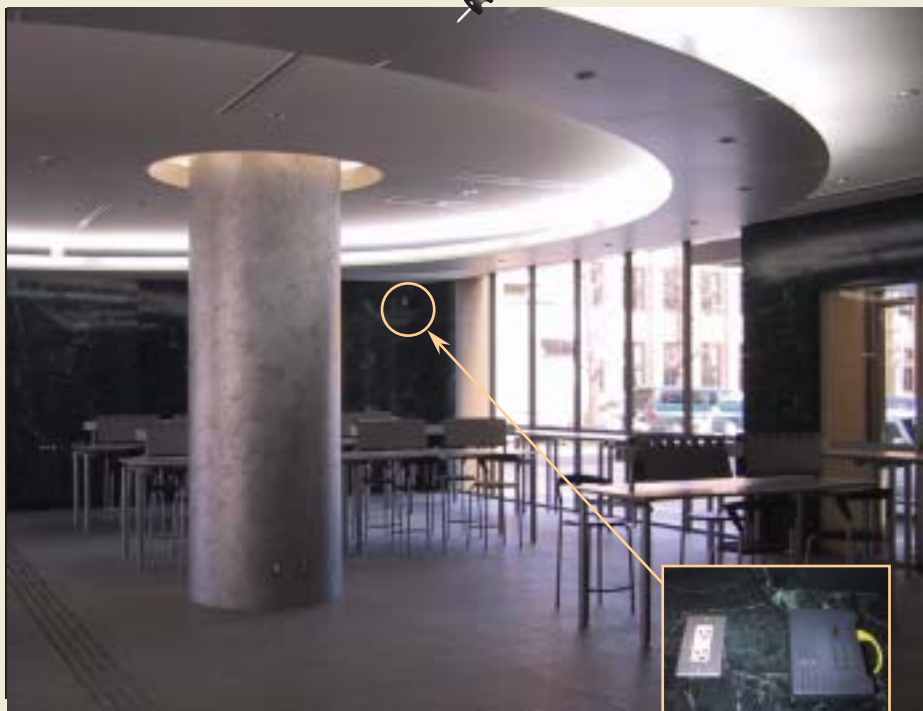
新7号館は利用学科との打ち合わせに基づき各部屋にLAN接続用情報コンセントの設置を行っています。また新7号館1階Webサロン(写真)には無線LANアクセスポイントと情報コンセントの設置を行っています。

百周年記念館では小ホール・会議室等に無線LANアクセスポイントや情報コンセントの設置を行っています。

これらの無線LANアクセスポイントは既存のキャンパスモバイルシステムと接続し、学内の様々な場所からネットワークに接続することが可能になる計画です。

さらに8号館レクチャーホールにも無線LANアクセスポイントと情報コンセントを設置しました。

これらの設備は現在設置調整中で4月からの正式稼働を予定しております。(T.K.)



7号館1階 Webサロン(上)に設置された無線LANアクセスポイント(右下)

コンピュータ実習室のリプレースについて

文理学部では現在、リース期間満了に伴い、コンピュータ実習室1, 3, 4を中心として各種サーバ群及びネットワーク機器を含め、教育用システムのリプレースの作業に入っています。新規システムは、現状のシステムの機能と利用できる各種ソフトウェアを基本的に継承しつつ、更にアップグレードされたより使い勝手の良いものとなる予定です。ここでは、新規システムのクライアント環境の基本構成と大きな変更点を中心に概説します。

まずハードウェアですが、新規システムとして実習室1, 3, 4の各教室共通に導入されるハードウェアの基本構成は、下記の通りとなっています。

教師機 Fujitsu FMV-7000TX (CPU:Pentium 4/2GHz,HDD:40GB,
RAM:512MB,CD-ROM/CD-RW/DVD-ROM) × 2台
学生機 Fujitsu FMV-6000SL (CPU:Pentium III/1.2GHz,HDD:40GB,
RAM:512MB,CD-ROM/CD-RW/DVD-ROM) × 48台
カラー レーザープリンタ
Fuji XEROX DocuPrint C2220 × 3台
スキャナー
EPSON GT-8700 × 1台

PCのモニターはすべて液晶ディスプレイで、学生2人に1台教材提示用モニターが配置され、教師機のデスクトップ画面やCAIシステム、各種教材提示用機器からの映像を直接映し出すようになっています。各教室の教師機は2台とし、1台で学生に教材資料を提

示している間、他方の1台で別の教材の準備など他の作業ができるようにしました。また学生機は、これまで40台だったものを48台に増やし、プリンタも高速なカラーレーザープリンタにしました。またすべてのPCにCD-ROM/CD-RW/DVD-ROMのコンボドライブを搭載し、教師機にはメモリーカードリーダーも備え、様々なメディアに対応できるようになっています。

上記以外に各種AV機器(DV/VHS, DVD, 教材提示装置等が利用できます)と、教材提示用にタッチパネルにもなるパイオニアの42インチプラズマディスプレイが各教室に1台設置されます。また各教室には無線LANのアクセスポイントが2台設置され、ノートPCを持ち込んでの授業にも対応しています。

次にソフトウェアですが、OSは(LMC教室を除く)全教室Windows 2000へと移行し、Active Directory機能で管理・運用が容易になります。もちろん、現在利用されている各種アプリケーションソフトは、OSへの対応ということで一部アップデート及びアップグレードすることで、基本的な機能をそのまま移行して同じよう 사용할ことができます。尚、Windows 2000への移行に伴って、既存の他の教室に関しても、メモリを増強しています。

その他、追加アプリケーションソフトとして実習室1, 3, 4に、フォトタッチソフトウェアのAdobe Photoshop Elements及びCAI教材作成支援ソフトウェアのStreamAuthor、また実習室4にはビデオ編集ソフトウェアのAdobe Premiereも導入されます。

新規システムに導入されるサーバ群及び教室のレイアウト等の詳細に関しては、次号ニューズレターにてお知らせします。

また新規システムの利用に関する説明会を3月下旬に予定しておりますので、詳細についてはまた改めてお知らせします。(I.T.)

各種・お問い合わせ先

準備室受付時間 月～土曜日
8:50～16:30

2/15(金)～21(木)の間は閉室となります

電話: 3329-1151 (内線 5901)

コンピュータセンター準備室及び学内の情報基盤について
文理学部ホームページ及び各種事務取扱について

center@chs.nihon-u.ac.jp

www-admin@chs.nihon-u.ac.jp

「Aliz」、「Badtrans」ウイルス（ワーム）に関する注意とウイルスワクチンソフト等の配付について

昨年11月末に注意文書を配布していますので、すでにご存じかつ対策済みの方も多いかと思いますが、「Aliz」、「Badtrans」などのかなり強力なウイルス（厳密には「ワーム」）が依然として世界的な流行をしています。

「Aliz」や「Badtrans」は、WindowsでMicrosoft社製の電子メールソフトOutlook, Outlook Expressを感染対象としており、感染するとアドレス帳に登録されている第三者宛にウイルス付きのメールを自動で転送してしまいます。以前流行しましたデータが破壊されてしまう「ILOVE YOU」に比べますと、個々のコンピュータに与える影響は大きくありませんが、感染力が強いいため非常に悪質なものです。

これらのウイルスの詳細については、下記のURLをご覧ください。

- ・IPA（情報処理振興事業協会）セキュリティセンター
<http://www.ipa.go.jp/security/topics/newvirus/newvirus-top.html>
<http://www.ipa.go.jp/security/topics/newvirus/aliz.html>
<http://www.ipa.go.jp/security/topics/newvirus/badtrans-b.html>
- ・マイクロソフト社のセキュリティ情報
http://microsoft.com/japan/technet/security/current.asp?url=/japan/technet/security/frame_prekb.asp?sec_cd=MS01-020
- ・シマンテック社
<http://www.symantec.co.jp/region/jp/sarcj/data/w/w32.aliz.worm.html>
<http://www.symantec.co.jp/region/jp/sarcj/data/w/w32.badtrans.b@mm.html>
- ・トレンドマイクロ社
http://www.trendmicro.co.jp/virusinfo/default3.asp?VName=WORM_ALIZ.A
http://www.trendmicro.co.jp/virusinfo/default3.asp?VName=WORM_BADTR ANS.B
- ・ネットワーク・アソシエイツ社（マカフィ）
<http://www.nai.com/japan/virusinfo/virA.asp?v=W32/Aliz@MM>
<http://www.nai.com/japan/virusinfo/virB.asp?v=W32/Badtrans@MM>

具体的な対処方法については、上述のホームページにて確認できますが、ウイルス（ワーム）に対する基本的な対策としては、以下のものがあります。

- ・知らない人から来たメールの添付ファイルは、開かない。
- ・知っている人から来たメールであっても、本文中に説明がない添付ファイルは開かない。
- ・拡張子が.vbs（Visual Basicスクリプト）.pif, .scr, .exeのファイルは、送られてきても実行しない。
- ・ウイルスワクチンソフトを購入し、導入（インストール）する。

- ・ウイルスワクチンソフトのデータベースを、常に最新の状態に保つ。

また「Aliz」や「Badtrans」は、先日流行した「Nimda」同様Microsoft社製のInternet Explorerにあったセキュリティ上の弱点（セキュリティホール）を狙ったものであり、今後も同様の傾向が続くと思われますので、以下の対策も講じてください。（実習室などの学内教育用システムについては対応済みです。）これは、Internet Explorerにあったセキュリティホールを補強するために必要な作業です。

- ・Internet Explorer 5.01, 5.5を使用している方は、最新の Service Pack 2をインストールする。（Windows 98/Me/2000では、インターネットに接続してから、（通常は画面左下の）スタートボタンをクリックし、出てきたメニューから「Windows Update」を選び、画面が開いたら「製品の更新」をクリック、出てきたリストの中から、（Explorer 5.01/5.5）の、サービスパック2を選ぶ。）
- ・あるいはInternet Explorerを、最新のVersion 6にアップデートする。その際には、「標準構成」以上でインストールしてください。（インストールプログラムを起動して、標準のまま設定を変更せずにインストールしていれば可）
参照：<http://www.microsoft.com/japan/ie/>

さらに学内からウイルス被害について報告が数多くなされたため、検討の結果、学内設置のPC（大学資産となっているもの）を対象として、ウイルスワクチンソフトであるシマンテック社製ノートン・アンチウイルス2001を各学科LAN連絡員の方を通じて配付しています。

各学科にてウイルスワクチンソフト未導入PCがありましたら、同時に配付しましたガイドに従ってインストールしていただきますようお願いいたします。

なお対応OSはWindows95/98/Me/2000となっており、XPは次期バージョンで対応のため、追ってご案内いたします。また上述のように大学資産ではない教職員や学生の個人所有PCなどは対象外となっていますのでご注意ください。

最後に、各学科にて上記ソフトウェアのインストールをおこなったPCの台数につきまして、センター準備室までご連絡いただくようお願いしておりましたが、連絡がお済みでない場合や、インストールPCの追加、各学科LAN連絡員の連絡先メールアドレスの変更、ウイルス被害に遭われた場合などの際には、早急にご連絡いただきますようお願いいたします。（Y.B.）

Microsoft Campus Agreementアップグレード版のお知らせ

昨年度より文理学部教職員を対象に導入されましたMicrosoft Campus Agreement（以下、MCA）で利用可能なソフトウェアのアップグレード版についてお知らせいたします。

今回、最新のアップグレード版としてご利用いただけるのは、下記のソフトウェアです。

Microsoft WindowsXP Professional（アップグレード版）
Microsoft Office v.X for Mac

なお、2001年5月以降に発売されたMicrosoft社製ソフトウェアについては、プロダクト・アクティベーション・テクノロジーという新たなライセンス認証が必要となり、MCA専用のプロダクト・キーと専用のインストール・メディアが必要となりました。

これにより今後、市販されているパッケージをMCA用に利用することができなくなりましたのでご注意ください。今後、MCA契約の範囲でMicrosoft社製ソフトウェアをお使いいただく場合は、必ずセンター準備室備え付けのインストール・メディアをお使い下さい。

上記ソフトウェアをご利用になる場合は、センター準備室備え付けの申請用紙に必要事項をご記入の上、お申し出下さい。また上記以外のソフトウェアについても常時、利用申請を受け付けておりますので、必要な場合はセンター準備室までお申し出ください。MCA及びMCAで利用可能な製品の詳細については、下記ホームページをご覧ください。

<http://www.microsoft.com/japan/education/ca/>

(I.T.)

編集後記 我が家のお雑煮自慢(2)...

M家（仙台でも限りなく北信） 仙台名物はぜのお雑煮は未だ食せず。
鳥肉の出汁（薄醤油味）に大根・にんじんの妻切りを一度凍らせた物をくぐらせセリを散らす。
餅は焼き餅。

K家（長野県）

塩味のおすまし。大根、人参、鶏肉、三つ葉、柚子の皮、焼いた角餅。

